

## ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC (為替ヘッジなし/資産成長型) (限定為替ヘッジあり/資産成長型) (為替ヘッジなし/実績分配型) (限定為替ヘッジあり/実績分配型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券(当ファンドは特化型運用を行います。)
信託期間	2034年10月13日まで(設定日:2024年8月30日)
決算日	(資産成長型) 4月15日および10月15日(ただし休業日の場合は翌営業日) (実績分配型) 毎月15日(ただし休業日の場合は翌営業日)
運用方針	ブラックロック・グループが運用する米ドル建ての「シエアーズ フレキシブル・インカム・アクティブ ETF」への投資を通じて、世界の様々な債券(デリバティブを含む)に投資を行い、長期的なインカム収益の最大化および値上がり益の獲得をめざします。
主要運用対象	ブラックロック・グループが運用する上場投資信託証券(以下「ETF」といいます。 )に投資を行います。なお、短期の債券に投資を行う場合があります。
組入制限	■ 株式への投資割合には制限を設けません。 ■ 投資信託証券(ETFを除きます。 )への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ■ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	決算頻度が年2回のファンドは、原則として4月15日と10月15日(休業日の場合は翌営業日)に、決算が年12回(毎月)のファンドは、毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ■ 経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買損益(繰越欠損補填後、評価損益を含みます。 )等の全額を分配対象額の範囲とします。 ■ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ■ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 ※基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

### 運用報告書(全体版)

ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC  
(為替ヘッジなし/資産成長型)  
(限定為替ヘッジあり/資産成長型)  
第1期(決算日:2024年10月15日)

ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC  
(為替ヘッジなし/実績分配型)  
(限定為替ヘッジあり/実績分配型)  
第1作成期  
第1期(決算日:2024年10月15日)

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは上記の通り決算を行いましたので、  
期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますよう

お願い申し上げます。

### ブラックロック・ジャパン株式会社

〒100-8217 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号

丸の内トラストタワー本館

運用報告書に関するお問い合わせ先

電話番号: 03-6703-4300

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

ホームページアドレス

[www.blackrock.com/jp/](http://www.blackrock.com/jp/)

## CONTENTS

- ◇ 基準価額の推移
- ◇ 運用担当者コメント
- ◇ ファンド状況
- ◇ 運用内容
- ◇ 資産状況
- ◇ お知らせ
- ◇ 組入上位ファンドの概要

## ◇基準価額の推移

## ■設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額		投資信託受益証券 組入比率	純資産
		税込 分配金	期中 騰落率		
(設定日) 2024年8月30日	円 10,000	円 -	% -	% -	百万円 30
1期(2024年10月15日)	10,348	0	3.5	100.7	12,253

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額、純資産総額は設定元本を表示しております。

(注2) 基準価額は1万口当り。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークを設定しておりません。

(注4) 純資産総額の単位未満は切捨て。

## ■当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		投資信託受益証券 組入比率
	騰落率		
(設定日) 2024年8月30日	円 10,000	% -	% -
8月末	10,000	0.0	-
9月末	9,925	△0.8	104.2
(期末) 2024年10月15日	10,348	3.5	100.7

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額。

(注2) 基準価額は1万口当り。騰落率は設定日比。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークを設定しておりません。

## ◇基準価額の推移

## ■設定以来の運用実績

決算期	(分配落)	基準価額		投資信託受益証券 組入比率	純資産
		税込 分配金	期中 騰落率		
(設定日) 2024年8月30日	円 10,000	円 -	% -	% -	百万円 30
1期(2024年10月15日)	9,983	0	△0.2	103.7	2,716

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額、純資産総額は設定元本を表示しております。

(注2) 基準価額は1万口当り。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークを設定しておりません。

(注4) 純資産総額の単位未満は切捨て。

## ■当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		投資信託受益証券 組入比率
		騰落率	
(設定日) 2024年8月30日	円 10,000	% -	% -
8月末	10,000	0.0	-
9月末	10,062	0.6	112.7
(期末) 2024年10月15日	9,983	△0.2	103.7

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額。

(注2) 基準価額は1万口当り。騰落率は設定日比。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークを設定しておりません。

## ◇基準価額の推移

## ■設定以来の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託受益証券 組入比率	純資産
		(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
第1 作成期	(設定日)	円	円	%	%	百万円
	2024年8月30日	10,000	-	-	-	30
	1期(2024年10月15日)	10,311	59	3.7	99.2	2,663

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額、純資産総額は設定元本を表示しております。

(注2) 基準価額は1万口当り。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークを設定していません。

(注4) 純資産総額の単位未満は切捨て。

## ■当作成期中の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		投資信託受益証券 組 入 比 率
			騰 落 率	
第1期	(設定日)	円	%	%
	2024年8月30日	10,000	-	-
	8月末	10,000	0.0	-
	9月末	9,948	△0.5	103.2
	(期 末)			
	2024年10月15日	10,370	3.7	99.2

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額。

(注2) 基準価額の騰落率は税込分配金込み。基準価額は1万口当り。騰落率は設定日比。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークを設定していません。

## ◇基準価額の推移

## ■設定以来の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託受益証券 組入比率	純資産
		(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
第1 作成期	(設定日)	円	円	%	%	百万円
	2024年8月30日	10,000	-	-	-	30
	1期(2024年10月15日)	9,964	16	△0.2	103.4	84

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額、純資産総額は設定元本を表示しております。

(注2) 基準価額は1万口当り。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークを設定していません。

(注4) 純資産総額の単位未満は切捨て。

## ■当作成期中の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		投資信託受益証券 組 入 比 率
			騰 落 率	
第1期	(設定日)	円	%	%
	2024年8月30日	10,000	-	-
	8月末	10,000	0.0	-
	9月末	10,063	0.6	99.3
	(期 末) 2024年10月15日	9,980	△0.2	103.4

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額。

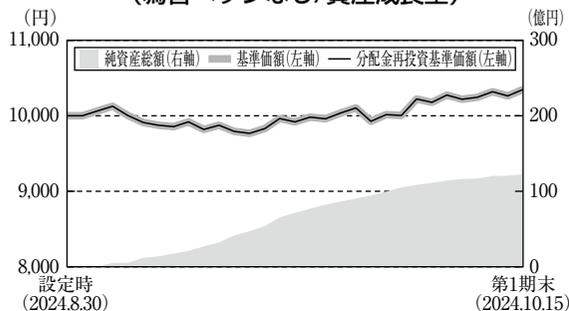
(注2) 基準価額の騰落率は税込分配金込み。基準価額は1万口当り。騰落率は設定日比。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークを設定していません。

ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(為替ヘッジなし/資産成長型)/(限定為替ヘッジあり/資産成長型)/(為替ヘッジなし/実績分配型)/(限定為替ヘッジあり/実績分配型)

## ■当期中の基準価額等の推移について(第1期:2024年8月30日~2024年10月15日)

(為替ヘッジなし/資産成長型)



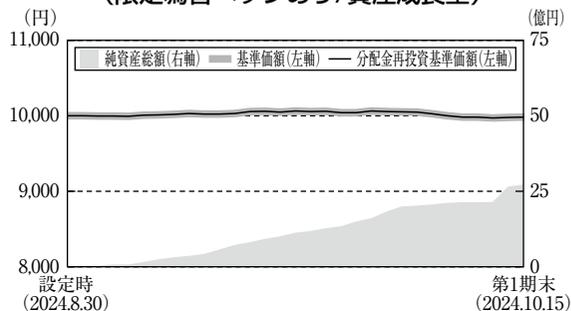
第1期首:10,000 円

第1期末:10,348 円 (既払分配金 0 円)

騰落率 : 3.5% (分配金再投資ベース)

- \* 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- \* 分配金再投資基準価額は、設定時の基準価額に合わせて指数化しています。
- \* 設定日の基準価額は設定時の価額を表示しております。

(限定為替ヘッジあり/資産成長型)



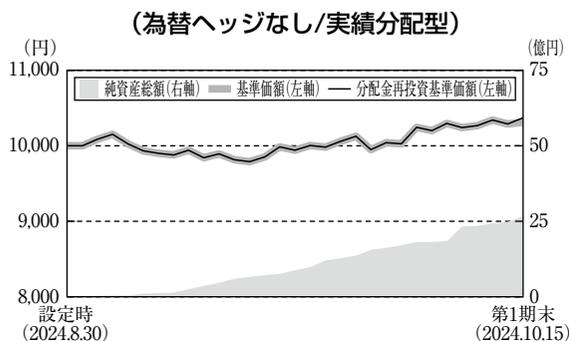
第1期首:10,000 円

第1期末:9,983 円 (既払分配金 0 円)

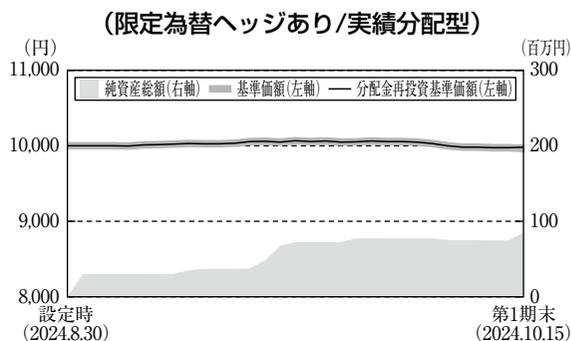
騰落率 : △ 0.2% (分配金再投資ベース)

- \* 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- \* 分配金再投資基準価額は、設定時の基準価額に合わせて指数化しています。
- \* 設定日の基準価額は設定時の価額を表示しております。

## ■ 当作成期中の基準価額等の推移について(第1作成期:2024年8月30日~2024年10月15日)



- \* 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- \* 分配金再投資基準価額は、設定時の基準価額に合わせて指数化しています。
- \* 設定日の基準価額は設定時の価額を表示しております。



- \* 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- \* 分配金再投資基準価額は、設定時の基準価額に合わせて指数化しています。
- \* 設定日の基準価額は設定時の価額を表示しております。

## ◇ 運用担当者コメント

## 投資環境について

当期、9月には、8月分米消費者物価指数(CPI)の前月比コア・インフレ率が市場予想を下回ったこと、非農業部門雇用者数が市場予想を下回ったこと、米連邦準備制度理事会(FRB)が市場予想を上回る50bpsの政策金利引き下げを発表し2020年3月以来の利下げを行ったことなどを背景に、米国では国債利回りが低下しました。その後10月前半には、9月分の非農業部門雇用者数が市場予想を大幅に上回ったことで米国債利回りが上昇しました。結果として、当期、米国債利回りは上昇して終えました。また、景気動向は底堅く推移するとの市場参加者の見方を背景に、米国投資適格社債などの信用スプレッドはタイト化して期を終えました。

## ポートフォリオについて

<ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(為替ヘッジなし/資産成長型)>

「iシェアーズ フレキシブル・インカム・アクティブETF(2024年10月10日に「ブラックロック・フレキシブル・インカムETF」から名称変更しました。)」への投資を通じて、世界の様々な債券(デリバティブを含む)に投資を行い、長期的なインカム収益の最大化および値上がり益の獲得をめざしました。

<ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(限定為替ヘッジあり/資産成長型)>

「iシェアーズ フレキシブル・インカム・アクティブETF」への投資を通じて、世界の様々な債券(デリバ

ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(為替ヘッジなし/資産成長型)/(限定為替ヘッジあり/資産成長型)/(為替ヘッジなし/実績分配型)/(限定為替ヘッジあり/実績分配型)

タイプを含む)に投資を行い、長期的なインカム収益の最大化および値上がり益の獲得をめざしました。また、米ドル・日本円の為替ヘッジを行い、米ドル・日本円間での為替リスクの低減を図りました。

#### <ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(為替ヘッジなし/実績分配型)>

「iシェアーズ フレキシブル・インカム・アクティブ ETF」への投資を通じて、世界の様々な債券(デリバティブを含む)に投資を行い、長期的なインカム収益の最大化および値上がり益の獲得をめざしました。

#### <ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(限定為替ヘッジあり/実績分配型)>

「iシェアーズ フレキシブル・インカム・アクティブ ETF」への投資を通じて、世界の様々な債券(デリバティブを含む)に投資を行い、長期的なインカム収益の最大化および値上がり益の獲得をめざしました。また、米ドル・日本円の為替ヘッジを行い、米ドル・日本円間での為替リスクの低減を図りました。

#### <iシェアーズ フレキシブル・インカム・アクティブ ETF>

当期、バリエーションの観点からの魅力度を背景として先進国社債(除く米国)を積み増したことに加え、非政府系MBS、CLO、政府系MBSのポジションを積み増しました。一方で、米国ハイイールド債、新興国債券(国債、社債等)をやや削減しました。

#### 基準価額の主な変動要因

#### <ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(為替ヘッジなし/資産成長型)>

当ファンドの基準価額は+3.5%となりました。「iシェアーズ フレキシブル・インカム・アクティブ ETF」が上昇したことから、期末の基準価額は上昇しました。

また、当該期間に為替が、円安になったことは、当ファンドの上昇要因となりました。

#### <ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(限定為替ヘッジあり/資産成長型)>

当ファンドの基準価額は-0.2%となりました。「iシェアーズ フレキシブル・インカム・アクティブ ETF」が上昇したものの、ヘッジコスト等の要因から期末の基準価額は下落しました。

#### <ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(為替ヘッジなし/実績分配型)>

当ファンドの基準価額は+3.7%となりました。「iシェアーズ フレキシブル・インカム・アクティブ ETF」が上昇したことから、期末の基準価額は上昇しました。また、当該期間に為替が、円安になったことは、当ファンドの上昇要因となりました。

#### <ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(限定為替ヘッジあり/実績分配型)>

当ファンドの基準価額は-0.2%となりました。「iシェアーズ フレキシブル・インカム・アクティブ ETF」が上昇したものの、ヘッジコスト等の要因から期末の基準価額は下落しました。

#### ベンチマークとの差異について

#### <ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(為替ヘッジなし/資産成長型)>

当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定し運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

### <ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(限定為替ヘッジあり/資産成長型)>

当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定し運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

### <ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(為替ヘッジなし/実績分配型)>

当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定し運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

### <ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(限定為替ヘッジあり/実績分配型)>

当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定し運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

## 分配金について

### <ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(為替ヘッジなし/資産成長型)>

収益分配金は基準価額水準、市場動向等を勘案して、見送りとさせていただきます。留保益の運用につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ■分配原資の内訳(1万口当り)

項目	当期
	2024年8月30日 ～ 2024年10月15日
当期分配金(税込み)	- 円
対基準価額比率	- %
当期の収益	- 円
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	439

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### <ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(限定為替ヘッジあり/資産成長型)>

収益分配金は基準価額水準、市場動向等を勘案して、見送りとさせていただきます。留保益の運用につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ■分配原資の内訳(1万口当り)

項目	当期
	2024年8月30日 ～ 2024年10月15日
当期分配金(税込み)	- 円
対基準価額比率	- %
当期の収益	- 円
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	99

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(為替ヘッジなし/資産成長型)/(限定為替ヘッジあり/資産成長型)/(為替ヘッジなし/実績分配型)/(限定為替ヘッジあり/実績分配型)

## <ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(為替ヘッジなし/実績分配型)>

収益分配金は基準価額水準、市場動向等を勘案して1万口あたり59円とさせていただきます。留保益の運用につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

### ■分配原資の内訳(1万口当り)

項目	第1期	
	2024年8月30日 ～2024年10月15日	
当期分配金(税込み)	59円	
対基準価額比率	0.57%	
当期の収益	42円	
当期の収益以外	16	
翌期繰越分配対象額	311	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## <ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(限定為替ヘッジあり/実績分配型)>

収益分配金は基準価額水準、市場動向等を勘案して1万口あたり16円とさせていただきます。留保益の運用につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

### ■分配原資の内訳(1万口当り)

項目	第1期	
	2024年8月30日 ～2024年10月15日	
当期分配金(税込み)	16円	
対基準価額比率	0.16%	
当期の収益	16円	
当期の収益以外	-	
翌期繰越分配対象額	82	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### 今後の運用方針について

#### <ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(為替ヘッジなし/資産成長型)>

引き続き、長期的なインカム収益の最大化および値上がり益の獲得をめざし運用を行う方針です。

#### <ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(限定為替ヘッジあり/資産成長型)>

引き続き、長期的なインカム収益の最大化および値上がり益の獲得をめざし運用を行う方針です。また、米ドル・日本円の為替ヘッジを行い、米ドル・日本円間での為替リスクの低減を図ります。

#### <ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(為替ヘッジなし/実績分配型)>

引き続き、長期的なインカム収益の最大化および値上がり益の獲得をめざし運用を行う方針です。

#### <ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(限定為替ヘッジあり/実績分配型)>

引き続き、長期的なインカム収益の最大化および値上がり益の獲得をめざし運用を行う方針です。また、米ドル・日本円の為替ヘッジを行い、米ドル・日本円間での為替リスクの低減を図ります。

#### <iシェアーズ フレキシブル・インカム・アクティブETF>

FRBが9月の会合で政策金利を50bps引き下げるなど、世界の中央銀行は緩和へのシフトを明確にし始め

ています。連邦公開市場委員会 (FOMC) は11月と12月の会合でさらに50bpsの利下げを行うことを示唆しており、利下げに対するコミットメントを示すと同時に、そのペースなどは経済指標次第であることも強調しています。一方欧州では、弱含む景気、雇用、インフレ環境を背景に政策金利の下振れリスクが残るものの、欧州中央銀行 (ECB) は、特定の利下げパスに関する言及を避け、経済指標次第であることを示唆しています。

このように不透明感が多いなか、デュレーションは機動的に調整する方針です。また、スプレッド資産についてはスプレッドの縮小が続いているものの、景気後退に陥る可能性が低いと見る中では、スプレッド資産に対しては建設的に考えています。

引き続き、長期的なインカム収益の最大化および値上がり益の獲得をめざし運用を行う方針です。

## ◇ファンド状況

## ■ 1万口当りの費用明細

項目	第1期		項目の概要
	(2024.8.30~2024.10.15)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 6	% 0.062	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,027円です。
(投信会社)	( 0)	(0.001)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	( 6)	(0.057)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	( 0)	(0.004)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.069	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託受益証券)	( 7)	(0.069)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.016	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(印刷費用・監査費用等)	( 2)	(0.016)	目論見書および運用報告書の作成・印刷費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用等の諸費用
合計	15	0.147	

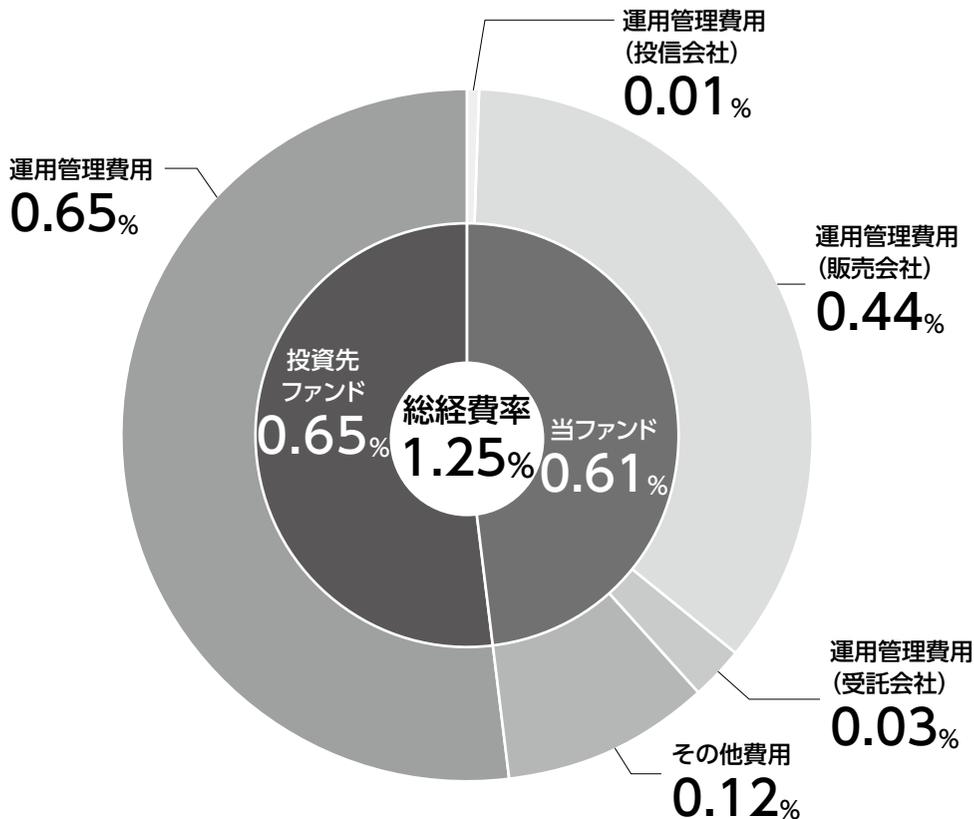
(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ■総経費率



※当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.25%です。

総経費率(①+②)	1.25%
①当ファンドの費用の比率	0.61%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.65%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5)①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6)①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注8)投資ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

## ◇運用内容

## ■売買及び取引の状況(2024年8月30日から2024年10月15日まで)

## 投資信託受益証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	iシェアーズ フレキシブル・インカム・アクティブ ETF(アメリカ)	千口	千米・ドル	千口	千米・ドル
			1,558	83,072	0.9	47

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注3) ( )内は、発行国です。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合(2024年8月30日から2024年10月15日まで)

当期における株式の売買はありません。

## ■利害関係人との取引状況(2024年8月30日から2024年10月15日まで)

上記期間における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■自社による当ファンドの設定・解約状況(2024年8月30日から2024年10月15日まで)

設定時残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 30	百万円 0	百万円 0	百万円 30	当初設定時における取得

## ■組入資産の明細

## 外国投資信託受益証券

銘 柄	当 期 末		
	口 数	外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ) iシェアーズ フレキシブル・インカム・アクティブ ETF	千口 1,557	千米・ドル 82,455	千円 12,341,117
合 計	金 額 1,557 銘柄数 <比率>	金 額 -	金 額 12,341,117 <100.7%>

(注1) &lt; &gt;内は、期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注3) 口数、評価額の単位未満は切捨て。

## ◇ファンド状況

## ■ 1万口当りの費用明細

項目	第1期		項目の概要
	(2024.8.30~2024.10.15)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 6	% 0.062	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,022円です。
( 投信会社)	( 0)	(0.001)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
( 販売会社)	( 6)	(0.057)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受託銀行)	( 0)	(0.004)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	10	0.096	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 投資信託受益証券)	( 10)	(0.096)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 投資信託受益証券)	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.020	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
( 印刷費用・監査費用等)	( 2)	(0.020)	目論見書および運用報告書の作成・印刷費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用等の諸費用
合計	18	0.178	

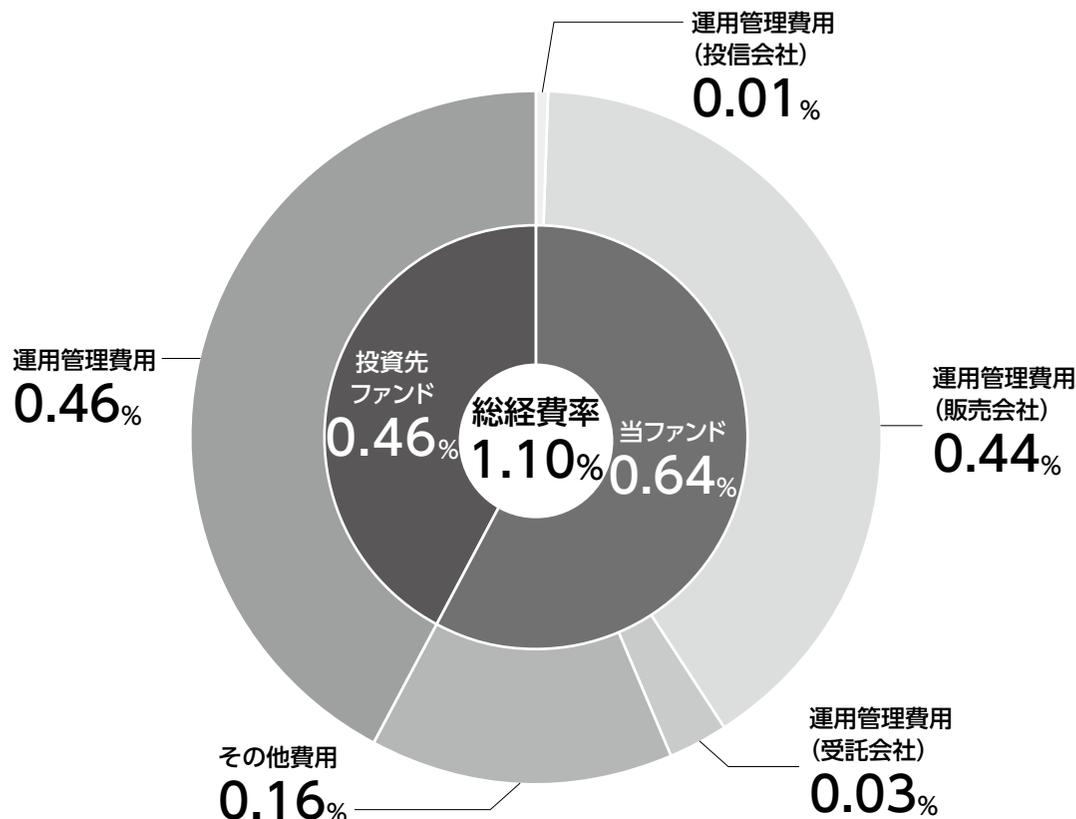
(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ■総経費率



※当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.10%です。

総経費率(①+②)	1.10%
①当ファンドの費用の比率	0.64%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.46%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5)①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6)①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注8)投資ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

## ◇運用内容

## ■売買及び取引の状況(2024年8月30日から2024年10月15日まで)

## 投資信託受益証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	iシェアーズ フレキシブル・インカム・アクティブ ETF(アメリカ)	千口 355	千米・ドル 18,939	千口 0.08	千米・ドル 4

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注3) ( )内は、発行国です。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合(2024年8月30日から2024年10月15日まで)

当期における株式の売買はありません。

## ■利害関係人との取引状況(2024年8月30日から2024年10月15日まで)

上記期間における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■自社による当ファンドの設定・解約状況(2024年8月30日から2024年10月15日まで)

設定時残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 30	百万円 0	百万円 0	百万円 30	当初設定時における取得

## ■組入資産の明細

## 外国投資信託受益証券

銘 柄	当 期 末		
	口 数	外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ) iシェアーズ フレキシブル・インカム・アクティブ ETF	千口 355	千米・ドル 18,822	千円 2,817,233
合 計	金 額 355 銘 柄 数 < 比 率 >	355 -	2,817,233 <103.7%>

(注1) &lt; &gt;内は、期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注3) 口数、評価額の単位未満は切捨て。

## ◇ファンド状況

## ■ 1万口当りの費用明細

項目	第1期		項目の概要
	(2024.8.30~2024.10.15)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 6	% 0.062	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,047円です。
(投信会社)	( 0)	(0.001)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	( 6)	(0.057)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	( 0)	(0.004)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	10	0.104	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託受益証券)	( 10)	(0.104)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.018	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(印刷費用・監査費用等)	( 2)	(0.018)	目論見書および運用報告書の作成・印刷費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用等の諸費用
合計	19	0.185	

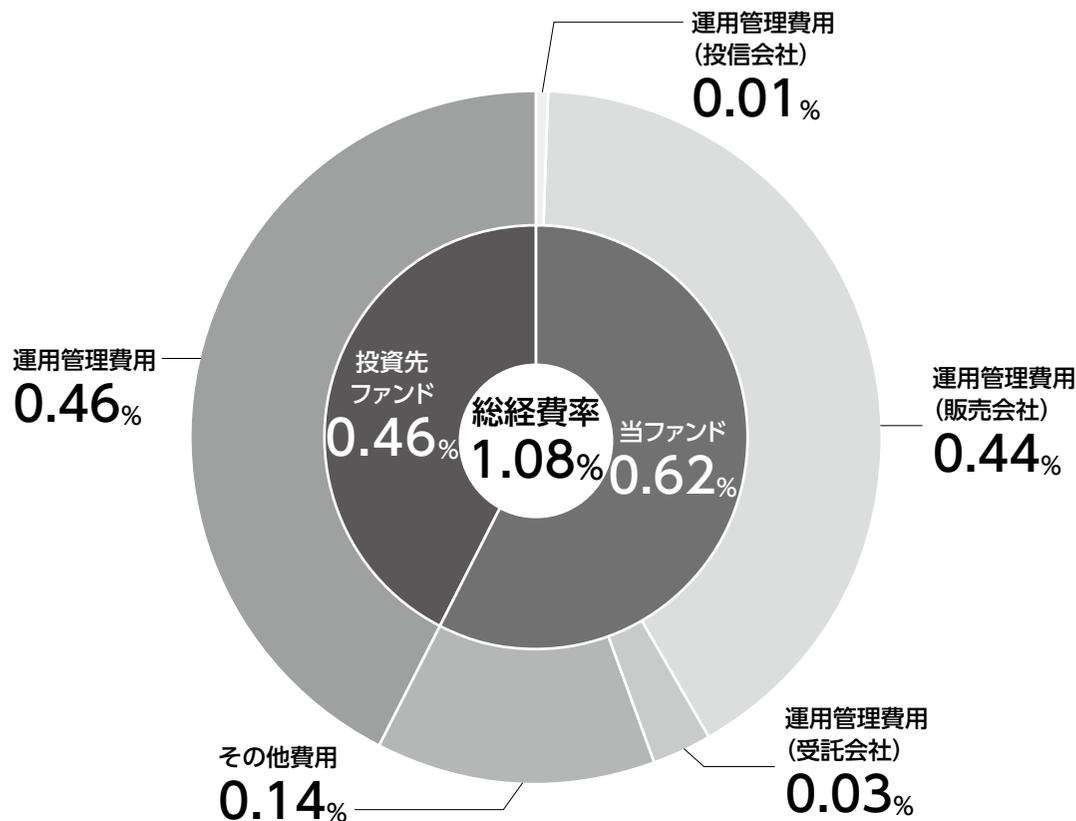
(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ■総経費率



※当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.08%です。

総経費率(①+②)	1.08%
①当ファンドの費用の比率	0.62%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.46%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5)①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6)①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注8)投資ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

## ◇運用内容

## ■売買及び取引の状況(2024年8月30日から2024年10月15日まで)

## 投資信託受益証券

決 算 期			第 1 期			
			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	iシェアーズ フレキシブル・インカム・アクティブ ETF(アメリカ)	千口 333	千米・ドル 17,770	千口 0.17	千米・ドル 9

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注3) ( )内は、発行国です。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合(2024年8月30日から2024年10月15日まで)

当作成期における株式の売買はありません。

## ■利害関係人との取引状況(2024年8月30日から2024年10月15日まで)

上記期間における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■自社による当ファンドの設定・解約状況(2024年8月30日から2024年10月15日まで)

設定時残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 30	百万円 0	百万円 0	百万円 30	当初設定時における取得

## ■組入資産の明細

## 外国投資信託受益証券

ファンド名	当 作 成 期 末		
	口 数	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ) iシェアーズ フレキシブル・インカム・アクティブ ETF	千口 333	千米・ドル 17,660	千円 2,643,233
合 計	金 額 333 銘 柄 数 < 比 率 > 1銘柄	-	2,643,233 <99.2%>

(注1) &lt; &gt;内は、作成期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 邦貨換算金額は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注3) 口数、評価額の単位未満は切捨て。

## ◇ファンド状況

## ■ 1万口当りの費用明細

項目	第1期		項目の概要
	(2024.8.30~2024.10.15)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 6	% 0.062	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,024円です。
( 投信会社)	( 0)	(0.001)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
( 販売会社)	( 6)	(0.057)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受託銀行)	( 0)	(0.004)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.045	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 投資信託受益証券)	( 5)	(0.045)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 投資信託受益証券)	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	1	0.015	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
( 印刷費用・監査費用等)	( 1)	(0.015)	目論見書および運用報告書の作成・印刷費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用等の諸費用
合計	12	0.122	

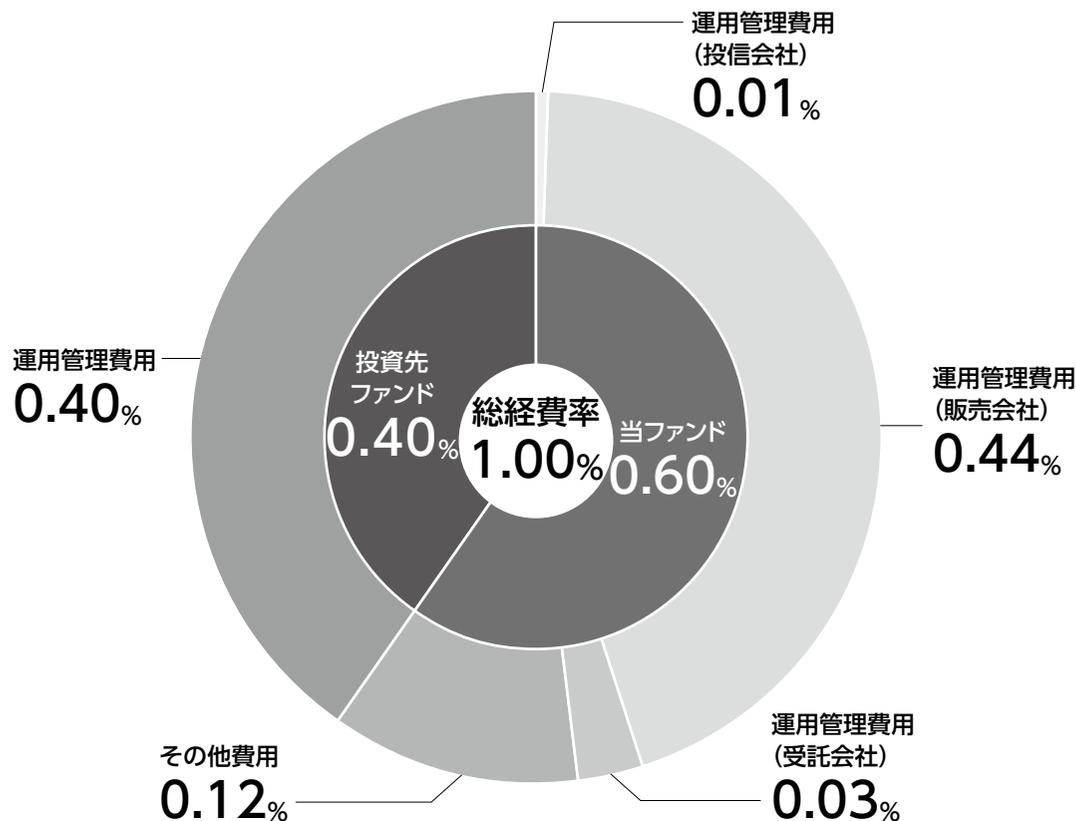
(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ■総経費率



※当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.00%です。

総経費率(①+②)	1.00%
①当ファンドの費用の比率	0.60%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.40%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5)①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6)①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注8)投資ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

## ◇運用内容

## ■売買及び取引の状況(2024年8月30日から2024年10月15日まで)

## 投資信託受益証券

決 算 期			第 1 期			
			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	iシェアーズ フレキシブル・インカム・アクティブ ETF(アメリカ)	11	602	0.28	14

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注3) ( )内は、発行国です。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合(2024年8月30日から2024年10月15日まで)

当作成期における株式の売買はありません。

## ■利害関係人との取引状況(2024年8月30日から2024年10月15日まで)

上記期間における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■自社による当ファンドの設定・解約状況(2024年8月30日から2024年10月15日まで)

設定時残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 30	百万円 0	百万円 0	百万円 30	当初設定時における取得

## ■組入資産の明細

## 外国投資信託受益証券

ファンド名	当 作 成 期 末		
	口 数	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ) iシェアーズ フレキシブル・インカム・アクティブ ETF	11	583	87.387
合 計	11	-	87.387
	金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	11 1銘柄	<103.4%>

(注1) &lt; &gt;内は、作成期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 邦貨換算金額は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注3) 口数、評価額の単位未満は切捨て。

## ◇資産状況

## ■投資信託財産の構成

2024年10月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 12,341,117	% 98.7
コール・ローン等、その他	159,435	1.3
投資信託財産総額	12,500,553	100.0

(注1) 当期末における外貨建資産(12,233,922千円)の投資信託財産総額(12,500,553千円)に対する比率は、97.9%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。換算レートは、1米・ドル=149.67円です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年10月15日現在

項目	当期末
(A) 資産	12,624,685,077 円
コール・ローン等	90,379,658
投資信託受益証券(評価額)	12,341,117,448
未収入金	124,132,177
未収配当金	69,055,794
(B) 負債	371,588,077
未払金	361,782,235
未払解約金	5,062,533
未払信託報酬	3,954,609
その他未払費用	788,700
(C) 純資産総額(A-B)	12,253,097,000
元本	11,841,052,479
次期繰越損益金	412,044,521
(D) 受益権総口数	11,841,052,479 口
1万口当り基準価額(C/D)	10,348 円

〈注記事項〉

設定元本額

30,000,000 円

期中追加設定元本額

11,846,838,439 円

期中一部解約元本額

35,785,960 円

## ■損益の状況

自2024年8月30日 至2024年10月15日

項目	当期
(A) 配当等収益	68,857,369 円
受取配当金	68,854,084
受取利息	3,285
(B) 有価証券売買損益	402,208,726
売買益	487,557,198
売買損	△ 85,348,472
(C) 信託報酬等	△ 4,743,309
(D) 当期損益金(A+B+C)	466,322,786
(E) 追加信託差損益金	△ 54,278,265
(配当等相当額)	( 54,546,132)
(売買損益相当額)	(△ 108,824,397)
(F) 合計(D+E)	412,044,521
次期繰越損益金(F)	412,044,521
追加信託差損益金	△ 54,278,265
(配当等相当額)	( 54,546,132)
(売買損益相当額)	(△ 108,824,397)
分配準備積立金	466,322,786

(注1) 損益の状況の中で有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含まず。

(注2) 損益の状況の中の信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 損益の状況の中で追加信託差損益金とは追加信託の際、追加代金と元本の差額をいいます。

## ■当期の分配金

当期の分配金は見送らせていただきました。

(注) 第1期計算期末における、費用控除後の配当等収益(68,163,897円)、費用控除及び繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(398,158,889円)、収益調整金(有価証券売買等損益相当額)(0円)、収益調整金(その他収益調整金)(54,546,132円)、分配準備積立金(0円)により、分配対象収益は520,868,918円となりましたが、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案し、当期は分配を見合わせました。なお留保金につきましては、引き続き元本部分と同一の運用をしていきます。

## ◇資産状況

## ■投資信託財産の構成

2024年10月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 2,817,233	% 97.5
コール・ローン等、その他	70,802	2.5
投資信託財産総額	2,888,035	100.0

(注1) 当期末における外貨建資産(2,819,663千円)の投資信託財産総額(2,888,035千円)に対する比率は、97.6%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。換算レートは、1米・ドル=149.67円です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年10月15日現在

項目	当期末
(A) 資産	6,529,117,538 円
コール・ローン等	52,611,608
投資信託受益証券(評価額)	2,817,233,411
未収入金	3,646,180,345
未収配当金	13,092,174
(B) 負債	3,812,513,097
未払金	3,811,633,916
未払信託報酬	716,376
その他未払費用	162,805
(C) 純資産総額(A-B)	2,716,604,441
元本	2,721,099,727
次期繰越損益金	△ 4,495,286
(D) 受益権総口数	2,721,099,727 口
1万口当り基準価額(C/D)	9,983 円

(注記事項)

設定元本額

30,000,000 円

期中追加設定元本額

2,720,282,823 円

期中一部解約元本額

29,183,096 円

## ■損益の状況

自2024年8月30日 至2024年10月15日

項目	当期
(A) 配当等収益	12,917,873 円
受取配当金	12,916,799
受取利息	1,074
(B) 有価証券売買損益	△ 22,786,529
売買益	106,733,183
売買損	△ 129,519,712
(C) 信託報酬等	△ 879,181
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 10,747,837
(E) 追加信託差損益金	6,252,551
(配当等相当額)	( 15,132,091)
(売買損益相当額)	(△ 8,879,540)
(F) 合計(D+E)	△ 4,495,286
次期繰越損益金(F)	△ 4,495,286
追加信託差損益金	6,252,551
(配当等相当額)	( 15,132,091)
(売買損益相当額)	(△ 8,879,540)
分配準備積立金	12,038,692
繰越損益金	△ 22,786,529

(注1) 損益の状況の中で有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中の信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 損益の状況の中で追加信託差損益金とは追加信託の際、追加代金と元本の差額をいいます。

## ■当期の分配金

当期の分配金は見送らせていただきました。

(注) 第1期計算期末における、費用控除後の配当等収益(12,038,692円)、費用控除及び繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(有価証券売買等損益相当額)(0円)、収益調整金(その他収益調整金)(15,132,091円)、分配準備積立金(0円)により、分配対象収益は27,170,783円となりましたが、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案し、当期は分配を見合わせました。なお留保金につきましては、引き続き元本部分と同一の運用をしていきます。

## ◇資産状況

## ■投資信託財産の構成

2024年10月15日現在

項 目	当 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	2,643,233	92.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	218,052	7.6
投 資 信 託 財 産 総 額	2,861,286	100.0

(注1) 第1期末における外貨建資産(2,655,532千円)の投資信託財産総額(2,861,286千円)に対する比率は、92.8%です。

(注2) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。換算レートは、1米・ドル=149.67円です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年10月15日現在

項 目	第 1 期 末
(A) 資 産	2,861,286,101 円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	207,075,028
投資信託受益証券(評価額)	2,643,233,876
未 収 配 当 金	10,977,197
(B) 負 債	197,607,640
未 払 金	181,580,148
未 払 収 益 分 配 金	15,241,512
未 払 信 託 報 酬	640,437
そ の 他 未 払 費 用	145,543
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	2,663,678,461
元 本	2,583,307,185
次 期 繰 越 損 益 金	80,371,276
(D) 受 益 権 総 口 数	2,583,307,185 口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C / D)	10,311 円

(注記事項)

設定元本額

30,000,000 円

作成期中追加設定元本額

2,553,307,185 円

作成期中一部解約元本額

- 円

## ■損益の状況

第1期 自2024年8月30日 至2024年10月15日

項 目	第 1 期
(A) 配 当 等 収 益	10,978,358 円
受 取 配 当 金	10,977,129
受 取 利 息	1,229
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	67,043,080
売 買 益	82,210,463
売 買 損	△ 15,167,383
(C) 信 託 報 酬 等	△ 785,980
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	77,235,458
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	18,377,330
( 配 当 等 相 当 額 )	( 15,804,233 )
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 2,573,097 )
(F) 合 計 (D + E)	95,612,788
(G) 収 益 分 配 金	△ 15,241,512
次 期 繰 越 損 益 金 (F + G)	80,371,276
追 加 信 託 差 損 益 金	14,003,589
( 配 当 等 相 当 額 )	( 11,430,492 )
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 2,573,097 )
分 配 準 備 積 立 金	66,367,687

(注1) 損益の状況の中で有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中の信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 損益の状況の中で追加信託差損益金とは追加信託の際、追加代金と元本の差額をいいます。

## ■当作成期の分配金

	第1期 2024年10月15日
1万口当り分配金	59円

- (注1) 分配金は、分配落ち後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、普通分配金と元本払戻金(特別分配金)に分かれます。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金(特別分配金)、残りの部分が普通分配金となります。
- (注2) 普通分配金は次の税率で課税されます。  
2037年12月31日までは、個人の受益者の場合は配当所得として、20.315% (所得税及び復興特別所得税15.315%、地方税5%)の税率による源泉徴収が行われます。原則として、申告は不要です。また、確定申告を行うことにより総合課税(配当控除なし)と申告分離課税20.315% (所得税及び復興特別所得税15.315%、地方税5%)のいずれかを選択することができます。法人の受益者の場合、15.315% (所得税及び復興特別所得税15.315%、地方税の源泉徴収はありません。)の税率による源泉徴収が行われます。  
※なお、税法が改正された場合には、上記の内容が変更になることがあります。
- (注3) 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- (注4) 累積投資コース税引き後分配金は、販売会社がお客様との累積投資契約に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。なお、第1期末の再投資は2024年10月15日現在の基準価額(1万口当り10,311円)に基づいて行いました。
- (注5) 第1期計算期末における、費用控除後の配当等収益(10,867,771円)、費用控除及び繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(66,367,687円)、収益調整金(有価証券売買等損益相当額)(2,573,097円)、収益調整金(その他収益調整金)(15,804,233円)、分配準備積立金(0円)により、分配対象収益は95,612,788円となり、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案し、15,241,512円(1万口当り59円)を分配に充てる事と決定いたしました。なお留保金につきましては、引き続き元本部分と同一の運用をしていきます。

## ◇資産状況

## ■投資信託財産の構成

2024年10月15日現在

項 目	当 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	87,387	88.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	11,071	11.2
投 資 信 託 財 産 総 額	98,459	100.0

(注1) 第1期末における外貨建資産(88,064千円)の投資信託財産総額(98,459千円)に対する比率は、89.4%です。

(注2) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。換算レートは、1米・ドル=149.67円です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年10月15日現在

項 目	第 1 期 末
(A) 資 産	187,338,390 円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	10,399,518
投資信託受益証券(評価額)	87,387,947
未 収 入 金	88,925,752
未 収 配 当 金	625,173
(B) 負 債	102,797,656
未 払 金	102,619,275
未 払 収 益 分 配 金	135,760
未 払 信 託 報 酬	34,735
そ の 他 未 払 費 用	7,886
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	84,540,734
元 本	84,850,048
次 期 繰 越 損 益 金	△ 309,314
(D) 受 益 権 総 口 数	84,850,048 口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C / D)	9,964 円

〈注記事項〉

設定元本額

30,000,000 円

作成期中追加設定元本額

56,800,948 円

作成期中一部解約元本額

1,950,900 円

## ■損益の状況

第1期 自2024年8月30日 至2024年10月15日

項 目	第 1 期
(A) 配 当 等 収 益	608,153 円
受 取 配 当 金	607,153
受 取 利 息	1,000
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 944,477
売 買 益	3,813,987
売 買 損	△ 4,758,464
(C) 信 託 報 酬 等	△ 42,621
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 378,945
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	205,391
( 配 当 等 相 当 額 )	( 271,248 )
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△ 65,857 )
(F) 合 計 ( D + E )	△ 173,554
(G) 収 益 分 配 金	△ 135,760
次 期 繰 越 損 益 金 (F + G)	△ 309,314
追 加 信 託 差 損 益 金	205,391
( 配 当 等 相 当 額 )	( 271,248 )
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△ 65,857 )
分 配 準 備 積 立 金	429,772
繰 越 損 益 金	△ 944,477

(注1) 損益の状況の中で有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中の信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 損益の状況の中で追加信託差損益金とは追加信託の際、追加代金と元本の差額をいいます。

## ■当作成期の分配金

	第1期 2024年10月15日
1万口当り分配金	16円

- (注1) 分配金は、分配落ち後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、普通分配金と元本払戻金(特別分配金)に分かれます。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金(特別分配金)、残りの部分が普通分配金となります。
- (注2) 普通分配金は次の税率で課税されます。  
2037年12月31日までは、個人の受益者の場合は配当所得として、20.315% (所得税及び復興特別所得税15.315%、地方税5%)の税率による源泉徴収が行われます。原則として、申告は不要です。また、確定申告を行うことにより総合課税(配当控除なし)と申告分離課税20.315% (所得税及び復興特別所得税15.315%、地方税5%)のいずれかを選択することができます。法人の受益者の場合、15.315% (所得税及び復興特別所得税15.315%、地方税の源泉徴収はありません。)の税率による源泉徴収が行われます。  
※なお、税法が改正された場合には、上記の内容が変更になることがあります。
- (注3) 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- (注4) 累積投資コース税引き後分配金は、販売会社がお客様との累積投資契約に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。なお、第1期末の再投資は2024年10月15日現在の基準価額(1万口当り9,964円)に基づいて行いました。
- (注5) 第1期計算期末における、費用控除後の配当等収益(565,532円)、費用控除及び繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(有価証券売買等損益相当額)(0円)、収益調整金(その他収益調整金)(271,248円)、分配準備積立金(0円)により、分配対象収益は836,780円となり、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案し、135,760円(1万口当り16円)を分配に充てる事と決定いたしました。なお留保金につきましては、引き続き元本部分と同一の運用をしていきます。

ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(為替ヘッジなし/資産成長型)/(限定為替ヘッジあり/資産成長型)/(為替ヘッジなし/実績分配型)/(限定為替ヘッジあり/実績分配型)

## ◇お知らせ

ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(為替ヘッジなし/資産成長型)

ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(限定為替ヘッジあり/資産成長型)

ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(為替ヘッジなし/実績分配型)

ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド/BINC(限定為替ヘッジあり/実績分配型)

以下のとおりの投資信託約款の変更を行いました。

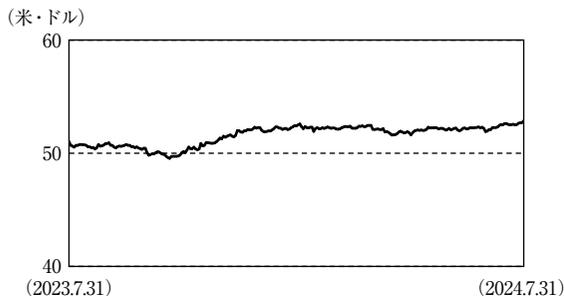
投資対象としている上場投資信託証券の名称変更に伴い、投資対象としている上場投資信託証券の名称を変更しました。

(変更日 2024年10月10日)

## ■組入上位ファンドの概要

### ◆iシェアーズ フレキシブル・インカム・アクティブ ETF

#### ○基準価額の推移



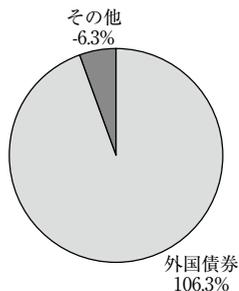
#### ○上位 10 銘柄

銘柄名	通貨	比率
UMBS 30YR TBA (REG A)	米・ドル	11.0%
BLACKROCK CASH CL INST SL AGENCY	米・ドル	8.9
ISHARES IBOXX \$ HIGH YIELD CORPORA	米・ドル	3.8
BRAZIL FEDERATIVE REPUBLIC OF (GO	ブラジル・レアル	0.8
ISHARES IBOXX \$ INV GRADE CORPORAT	米・ドル	0.8
MEXICO (UNITED MEXICAN STATES) (GO	メキシコ・ペソ	0.8
BRAZIL FEDERATIVE REPUBLIC OF	ブラジル・レアル	0.6
COLOMBIA (REPUBLIC OF)	コロンビア・ペソ	0.4
MORGAN STANLEY	ユーロ	0.3
MEXICO (UNITED MEXICAN STATES) (GO	メキシコ・ペソ	0.3
組入銘柄数	2,364 銘柄	

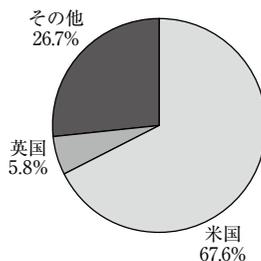
#### ○1万口当りの費用明細

当該情報の取得が不可能であるため記載していません。

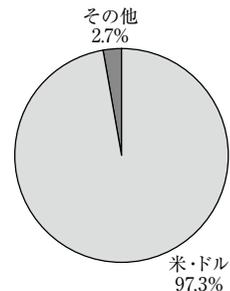
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\* 当社適時開示資料作成にあたり使用しておりますブラックロック・グループのデータに基づき記載しております。